

高等学校(全日制)

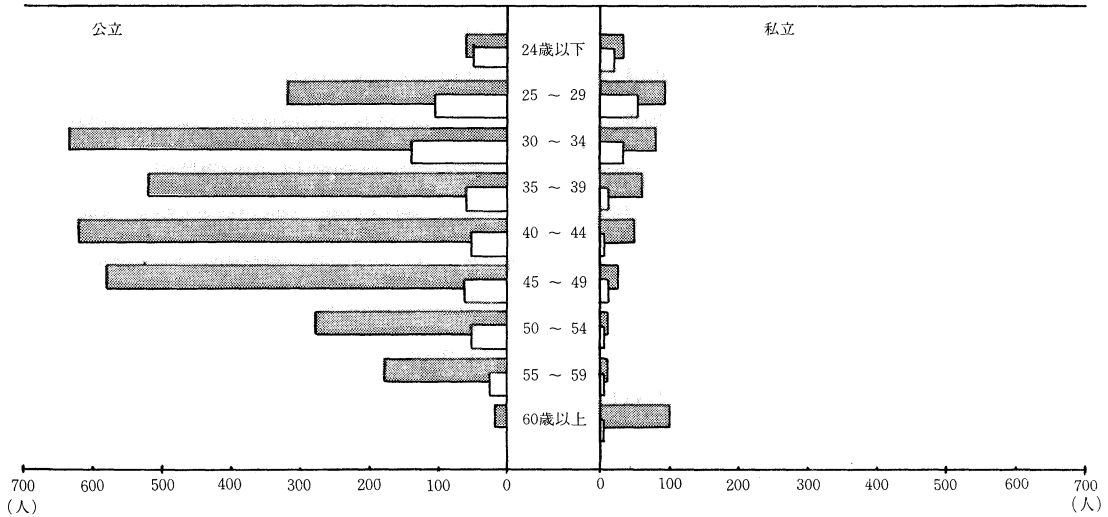


表2 職名別・性別平均年齢

(歳)

区 分	計			校 長		教 頭		教 諭		助 教 諭		講 師		養 護 教 諭		養 護 助 教 諭	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
幼稚園 { 公 立	28.6	60.0	28.6	—	—	—	46.0	—	28.4	—	30.5	60.0	22.5	—	—	—	—
幼稚園 { 私 立	30.7	52.8	28.4	54.6	57.2	53.3	42.7	62.0	25.7	30.0	35.1	49.0	39.5	—	47.0	—	—
公立小学校	42.2	43.3	41.0	53.0	55.9	47.6	49.6	40.8	41.2	25.9	25.3	27.8	26.6	—	40.9	—	28.9
公立中学校	40.6	42.0	37.2	53.2	—	46.9	—	40.6	36.8	—	—	24.6	29.9	—	43.2	—	27.2
高等学校 { 公立全日制	39.6	40.0	36.7	55.7	—	52.7	52.0	39.1	36.7	—	—	44.3	32.7	—	36.2	—	49.3
高等学校 { 私立全日制	38.2	39.7	33.3	59.1	58.0	47.6	—	37.4	32.2	41.8	37.8	35.2	30.3	—	—	—	24.0

② 教員個人調査

調査対象となった学校の昭和49年10月1日現在勤務している本務教育の学歴区分別の構成は図2のとおりである。ここでの学歴区分は、次の区分により調査したものである。

- 大学A……学歴区分が「大学」の者のうち、国立大学の教員養成を目的とする課程又は旧制の教員養成諸学校を卒業した者。
- 大学B……学歴区分が「大学」の者のうち、上記以外の者。
- 短大A……学歴区分が「短期大学」の者のうち、国立養護教諭養成所、旧国立工業教員養成所又は旧制の教員養成諸学校を卒業した者。
- 短大B……学歴区分が「短期大学」の者のうち、上記以外の者
- 高校A……学歴区分が「高等学校」の者のうち、旧制の教員養成諸学校を卒業した者
- 高校B……学歴区分が「高等学校」の者のうち、上記以外の者

また、教員の免許状所有状況は図3のとおりである。

免許状の併有等の状況を見ると、まず、「現在勤務学校種の免許状のみ所有している教員の割合」は、幼稚園公立が92.9%、同私立94.0%、公立小学校、47.3%、公立中学校33.1%、高等学校公立30.1%、同私立56.4%となっている。「現在勤務学校種の免許状のほかに1種類の免許状を併有している教員の割合」は、幼稚園公立 5.3%、同私立 3.5%、公立小学校39.8%、公立中学校58.4%、高等学校公立65.2%、同私立42.8%となっている。

教員の平均勤務年数を示せば表3のとおりである。この表に示すとおり教員の平均勤務年数は、幼稚園公立6.6年、同私立 6.0年、公立小学校20.7年、公立中学校16.8年、高等学校公立(全日制) 15.6年、同私立(同) 10.8年となっている。

学校種別に本務教員の給与月額について、その平均月額を職名別に見ると表4、図4に示すとおりである。